



さきばる

さいごまで きあいをいれて ねほりづよく がんばる子ども の育成

12月20日(金)

「親子読書の日」

親子で本に親しみ、本を通じて親子が共有する時間を持ちましょう。

木炭の科学

校長 長崎 克則

リチウムイオン電池の研究でノーベル化学賞に輝いた吉野彰さんが【科学に興味を持つきっかけとなった本】として、「ろうそくの科学：ファラデー著」を紹介しました。

この本は、ろうそくが燃えるという現象を、化学や物理学の視点からとらえ、子どもたちにもわかりやすいように解説を進めた名著だと言われています。

熱で溶かされて液体となったろう（主成分は炭素と水素）が、毛細管現象で芯の中を上昇し、さらに加熱されて可燃性のガスとなり、空気中の酸素と結びついて、熱と光を発生させる。このサイクルを効率よく、しかもシンプルに繰り返すというろうそくの仕組みを子どもたちにどのように解説するかがこの本の魅力だととらえています。

私も、幼少の頃、実際にろうそくの火と見くらべながら夢中になって読んだ記憶があります。2016年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅良典さんも同じ本を挙げています。

最近崎原では、木炭を作るための木の切り出しが行われました。崎原小中学校の敷地には木炭を作るための窯、「はあごろ窯」があります。崎原では昔から賀谷の木炭づくりが有名でした。

高度経済成長期、LPガスなどの化石燃料の使用が広がるまで、木炭は優れた燃料として、大昔から使用されていたようです。日本史的には紀元前30数万年前の洞窟住居跡で最古の木炭の製造と使用の痕跡が残っているようです。

1950年代にLPガスが普及するまで、日本では最大で年間200万トンの生産量があったようです。1980年代後半には生産量はおよそ3万トンにまで落ち込みましたが、現在は木炭の良さが再認識され、現在は少しずつ生産高も上昇を始めているようです。



賀谷で行われた切り出し作業

さて、この木炭。科学的には、どう説明すればよいのでしょうか。木炭の原料は木です。木材そのままでは揮発成分や分解生成物が多く、煙が発生してしまいます。しかし木炭は、木を蒸し焼き（酸素に触れないように加熱）にすることで、揮発成分や分解生成物を取り除いた状態で、主に炭素と酸素を結びつける効果的な燃焼（酸化）を進めるといった特徴があります。

また、酸素を供給するとさらに温度が上昇するというすごいパワーも持っています。（空気を機械的にたくさん送り込む、「たたら」という方法では鉄も溶かすことができます。）

現在では次の三点の理由からも、木炭の良さが認められてきているのです。

- ① 化石燃料と違い、環境への負荷が少ないこと。（環境に優しい。）
 - ② 燃料以外に、使用目的が広がっていること。
（濾過材料・調湿材料・消臭材料 等 時には食材にも・・・）
 - ③ 木炭生産のための適度な森林管理は、里山の育成に効果があること。
- 今、木炭の生産は、持続発展可能な地域づくりを目指す一つの方法としても注目されています。皆様も、崎原の「はあごろ炭」を使ってみませんか。



※ はあごろ とはアカショウビンのことです。



火入れの準備作業



もうすぐ火が入る「はあごろ窯」

児童生徒の受賞 ～ 光り輝け 崎原っ子 ～

先月も多数の受賞を御紹介いたしました。が、受賞は、まだまだ続いています。児童・生徒の活躍が光ります。

【市民体育祭スローガン】	最優秀賞 生出 陸(中3) 「光り輝け 八つの絆！ 令和に刻め 新たな歴史！」
【市小中音楽発表会テーマ】	学校賞 崎原小中学校 テーマ考案者表彰 森田光南(小3) 辺木美咲(小3) 保枝志琉(小4) 「みんなの音色を届けよう 令和の風にのせて」
【県理科に関する研究記録展】	入選 辺木美咲(小3)
【やせいのいきもの絵画展】	あざやか賞 瀧田徠斗(小2)

練習の成果を披露 オカリナ演奏

11月24日(日)に、AiAiひろばにて、ライリッシュ・オカリナ連盟奄美教室の皆さんのオカリナコンサートが開催されました。本連盟沖縄県那覇支部長（奄美教室講師）の大城智子先生からのお誘いがあり、本校児童生徒もコンサートに参加させていただきました。今年2月にオカリナを寄贈していただき、子どもたちは、音楽の授業や朝の会・帰りの会、音楽集会等で練習を積み、学習発表会では、2曲を演奏することができました。今回は、初のコンサート、それもオープニングでの演奏ということもあり、児童生徒、そして一緒に参加した職員も緊張した様子で事前の練習に臨んでいましたが、本番では見事に「きらきら星」・「エーデルワイス」の2曲を心地よい音色で演奏することができました。大城先生から、「練習を頑張ってきたことがよくわかる。短期間で演奏技術を身に付けていく子どもたちの力はすごい。」などの感想もいただきました。練習の成果を大いに発揮できたオカリナコンサートとなりました。コンサート出演への御支援・御協力、ありがとうございました。



アンガーマネジメント 対処法を知り健康生活を

中学生を対象に、「アンガーマネジメント」の授業を行いました。アンガーマネジメントとは、「怒り」の感情をコントロールするスキルを身に付けようとするものです。



昨今、事件等の報道で、よく「キレる」というような表現を耳にしますが、この「キレる」という行動は、自分が抱える怒りをコントロールできず、衝動的に暴言・暴力等に至るものであると考えられます。講師の高橋恭子先生（精神科医）は、怒りが起こる脳のメカニズムについての説明や、自分自身が怒りに気づいた時に行う対処法等を具体的に説明してくださいました。「怒りに気づいた時の6秒ルールの実践」（深呼吸をすること、自分で日頃から使っている魔法の呪文を唱えること、怒りの温度計をイメージすること、その場から離れることなど）が大切であることを教えていただきました。また、怒りが起こるような事例を基に、怒りのレベルを当てるゲーム等も行い、「怒り」と向き合い、適切な対処法を身に付けることを学びました。心身共に成長著しい中学生に大いに役立つ授業となりました。

12月の行事予定

- 12/ 2 (月) 期末テスト(中学 3日目)
- 12/ 4 (水) ロードレース大会事前健康診断
- 12/ 5 (木) 血液教室(中学)
- 12/ 9 (月) 給食時間の学校訪問
- 12/10 (火) 人権集会
- 12/14 (土) 校内ロードレース大会
学校保健委員会・PTA
おにぎりの日
- 12/15 (日) 市民総ぐるみ清掃活動
- 12/17 (火) 炭の取り出し(14:00～)
- 12/19 (木) 学校評議員会
- 12/24 (火) 2学期終業式
- 12/25 (水) 日本復帰記念の集い
- 12/27 (金) 仕事納め